

## 富士フイルム株式会社



## タイ国における消化器がん診断プラットフォーム（PF）の構築に係る実証事業

## 本事業の目的

<タイにおけるDX関連技術の普及を通じた診療ワークフロー改善、消化器がんデータベースおよび診断プラットフォームの構築>  
 本事業の最終目的は、タイにおいて内視鏡AI診断支援・レポートインテグレーションシステム等のDX関連技術を用い、診療ワークフロー（WF）を改善するとともに消化器がん症例データベース（DB）と診断プラットフォーム（PF）を構築し、内視鏡関連の診療データの活用環境を整備することで、消化器がんの診療基盤を強化することである。

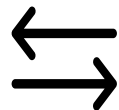
## 現地企業や政府との協力・連携

タイ学会  
タイ医療機関

課題協議・システム  
カスタマイズ協力

タイ保健省  
保険団体

課題協議・制度化に  
向けた協議



富士フイルム  
FUJIFILM Thailand

全体遂行・課題提案  
システムカスタマイズ

日本医療機関

日本の事例共有

## 現地の経済・社会課題

<タイにおける内視鏡診療に対するニーズの高まりに対し、専門医不足・非効率なワークフローが原因で対応できていない>

タイでは、がんを含む新生物が死因1位となっており、がんの早期発見・治療に寄与する内視鏡検査・処置に対するニーズが高まっている。一方で、タイにおいて内視鏡専門医は絶対的に不足・偏在しており、また診療WFについても手入力作業や紙ベースの資料を使用しているなど非効率であり統計的な実態把握・分析が難しく、これらが原因となり、現状では早期発見や効率的な治療ができていない。

本事業では、現地内視鏡学会からの協力依頼を受け、当社システムをタイの医療機関に設置し診療WF改善効果の検証と診療データ収集の実証を行う。これらにより医師の業務負荷低減、診療データ収集と利活用を通じたがんの早期発見や診断精度向上、将来的な内視鏡医早期育成に貢献することを目指す。



A substantial amount of time is also spent on recording, searching and retrieving patients' data and medical information



# 富士フィルム株式会社



## タイ国における消化器がん診断プラットフォーム（PF）の構築に係る実証事業

### 実証期間

2022年9月～2024年1月

### 実証した内容

#### <パイロットスタディ>

タイの政府機関・学会等からの要請を受け、当社システムをタイ国内の医療機関に導入し、タイの使用実態に合わせてカスタマイズするためのパイロットスタディを実施した。

#### <ロードマップ作成と合意、推進体制・医療保険・公的補助検討>

タイの消化器がん診療におけるDX技術のスタンダード化に向け、関係者とのコンセンサス醸成を目的とし、政府・学会関係者等への説明を実施し、導入に向けた課題協議を進めた。

#### <日本の成功事例や課題、医療政策の整理と共有>

タイの関係者に消化器がん診療DX技術の有用性・必要性を理解いただくため、日本における事例を報告し協議した。

#### <タイのステークホルダーの日本への招聘、推進協議と課題共有>

タイの関係者を日本の病院に招聘し、消化器がん診療の現場におけるDX技術運用につき理解いただいた。

### 事業の成果/今後の予定

#### <パイロットスタディ>

タイにおけるDX技術の活用による消化器がん診療WFの改善可能性につき検証できた。一方で、一部現地の運用に合わせるなど医療現場の取組易さに考慮するとともに、データ活用制度・体制を構築することの重要性が示唆された。

#### <ロードマップ作成と合意、推進体制・医療保険・公的補助検討>

政府・学会・医療機関の上層部から診療現場のユーザーまで、それぞれの立場においてDX技術を活用しデータを収集していくことのメリットを得られる仕組みの構築が必須であることが確認できた。

#### <日本の成功事例や課題、医療政策の整理と共有>

#### <タイのステークホルダーの日本への招聘、推進協議と課題共有>

それぞれを通じ、日本におけるDX活用技術の導入事例や課題について、タイ関係者の理解を得ることができた。

#### <今後の予定>

最終的な目的である「診療WF改善および消化器がん症例DBと診断PFの構築」に向け、タイ政府・学会・医療機関等関係者へアプローチを継続し、事業推進者全員が目的を共有しながら進められる体制構築を目指す。